

平成22年度 太田郷小学校経営方針

気持ちよく過ごせる学校

校訓

(ちえ) 明るく、(こころ) やさしく、(からだ) たくましく

学校教育目標

人にやさしさ、自分に強さを身につけ自ら学び自ら未来を拓く児童の育成 ※

具体目標

子ども同志のよりよい人間関係を育む教育活動

- よりよく学ぼうとする意欲と態度を身に付ける。
- 友だちのよさに気づき、共に伸びる。
- 自分のめあてを持ち、ねばり強くがんばる。

わたしのあなたの「よかところさがし、がんばるさがし」

太田郷愛ことば

ここに元気、太田郷

学校像

《ひびく学校》

- 1 明るく、思いやり豊かな学校
- 2 一歩前へ、向上意欲のある学校
- 3 安全、安心、愛情あふれる学校

子ども像

《はずむ子ども》

- 1 学び合う喜びをもつ子ども
- 2 遊び合う喜びをもつ子ども
- 3 助け合う喜びをもつ子ども

教師像

《きり先生》

- 1 一人一人の子どもに愛情を注ぐ教師
- 2 豊かな創造力に富む教師
- 3 地域の信頼に応える教師

家庭・学校・地域の協働実践

「あいさつ日本一大作戦」
～ 明るい声で おはよう こんにちは さようなら ～
『おこさ運動』

教育方針

一人一人のよさをみつけ、認め、励まし、のびす教育 【個性重視】

個の確立

人としての賢さ、やさしさ、強さを持ち、社会の中での自己を自覚し、役割を果たすことができる。 ※

協働(スクラム)

家庭力・学校力・地域力の発揮

【家庭・学校・地域だからできる教育】

職員組織

教育の専門家集団組織

【一人一人の持てる職務能力発揮】

学校経営参画

〔創意工夫〕

(「プラス・1思考」)

連携(報告・連絡・相談)

〔情報の共有化〕

(「つながり・響き合う」ための「声かけ」)

職務遂行(P・D・C・A)

〔職責完遂〕

(計画・実行・点検・更新のスパイラル・サイクル)

教育環境

肥沃な教育土壌の醸成

【家庭・学校・地域の大人のよい手本】

人的要素

〔人間愛・教育愛・自己研鑽〕

(子どもの「勇気を引き出す」言葉かけ)

物的要素

〔生活空間創造〕

(子どもの「居場所」づくり)

経営要素

〔参画意識・協働〕

(子どもの変容を図る「プロデュース」)

教育活動

縦系に横系を絡ませて織り上げる「ゴザ打ち」教育

【家庭・学校・地域の協働作業】

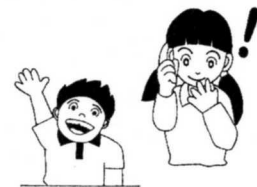
縦系：「明るく・やさしく・たくましく」 横系：「あらゆる教育活動」

喜びのある授業

〔子どもが「湧く」、「沸く」、「ワク」する授業 — 【認め・励まし・伸ばす】

① 「基礎・基本」をきちんと教え、「考え・活動させる」授業

- | | |
|---|---------------------------|
| 子 | ○ 学習の「めあて」、「方法」、「内容」が分かる。 |
| ど | ○ 「友の考え方のよさ」が分かる。 |
| も | ○ 学習を終えて「自分の成長」が分かる。 |



② 学習活動の中に「対話活動」が組織された授業

③ 教師の支援が生きている授業

- 「学力向上プロジェクト」提案事項の活用
- 学力調査問題等分析に基づく発問、評価問題の工夫

確かな学力

自ら課題を解決していく力の育成

- 基礎学力の定着
- 学力充実の基盤づくり
- 豊かな自己表現力の養成

- [繰り返し学習、発展学習、指導法の工夫]
- [生活のリズム・体力づくり、単位時間の充実]
- [「言語活動の充実」を図る具体的実践]

豊かな人間性

心の豊かさを求める態度の育成

- 心を耕す体験的な学習活動の工夫
- 基本的な生活態度の確立(「5つのしおり」)

- [豊かな感性、知性、徳性の涵養]
- [よき自己意識(自尊感情)の形成]
- [教育の評価は、子どもの姿!]

指導と評価の一体

学校評価

家庭・地域とのコミュニケーション・ツール

【相互理解・相互信頼・相互尊敬】

- 太田郷小教育の質の向上(成果と課題の明確化) —— [家庭・地域の信頼を得る教育創造]
- 内に外に開かれた学校づくり(情報の共有・活用) —— [双方向のコミュニケーション]

目標に照らし(P)、取り組み(D)、見直し(C)、修正を図る(A) プラス・ワン思考のスパイラル